

敬和創



上田市立第六中学校
学校だより No.13
令和8年3月18日(水)



〇つなぐ「憧れ」、築く「一步」～1年「挑戦」・2年「自覚」・3年「情熱」の日々～

3年生を送る会：吹奏楽部の演奏で3年生入場



生徒会長挨拶

1年：先輩たちとの思い出の寸劇を交えた学年発表



1年合唱：「栄光の架け橋」



2年合唱：「花になれ」

2年生徒会役員による数々の爽やかなおもてなし



3年生によるお返しの合唱：匠巻の歌声「正解」



- ★校長先生から3年生へのメッセージ：①挑戦し続ける②失敗してもあきらめない→環境が変わり、中学校より自由な生活が待っているが、新たな不安に負けず、自分らしく挑戦してってください。「正解」の合唱、素晴らしかった。
- ★生徒会長より：「Wing～一人ひとりの笑顔が自由に飛び交う生徒会～」のスローガンのもと、生徒会をそして六中を引っ張っていただきありがとうございました。先輩方が見せてくださったこれまでの姿は、私たち1,2年生にとって大きな目標でした。すべてが私たちの力になっていました。そのすべてに心から感謝しています。

○3学期終業式 校長講話～「節目」「志」

47日間の三学期も終わりを迎えようとしています。そして明日は卒業証書授与式、3年生の新たな未来に向っての門出の日です。さて、三学期の終わりに「節目」と「志」について話します。

○節目

「節目」とは、辞書では「木材や竹などの節があるところ」の意味と、「物事の区切り目」という意味があります。3月から4月にかけて年度をまたぐこの時期も、物事の区切り目という意味での、まさに「節目」と言えます。学校には、授業の1時間ごとの「節目」から、1日単位、週単位、月単位、学期単位、年単位など、たくさんの「節目」があります。大きな行事の前後や、何か新しい取り組みを始める前後も「節目」と言えるかもしれません。

今回の「節目」は、1,2年生にとっては上の学年に進級すること、3年生にとってはそれぞれの進路に飛び立っていく大きな「節目」であることとなります。4月の「節目」を迎える前の時期、つまり、今回で言えばこの3月17日からの年度末休業。この時期をどんな心持ちで過ごすかについて考えたいと思います。意識をもって過ごさないと時計の針は勝手に進んでいき、気づけば4月1日を迎えているかもしれません。今のこの時期の区切りに意味をもたせ、新たなスタートに出会ったとき、気持ちを切り替えて前向きに進んでいくことができるきっかけとしたいものですね。これまでの自分の生活を改めて思い返し、上手くできたこと、できるようになったこと、心温まる思い出などを再確認すると同時に、もっとこうすればよかったと思うことや、残念な出来事なども、次からはどうしていくか、ということを考える時期にすることが大切です。そうすることで、「節目」の後、今回で言えば4月からを大変有意義なスタートの時期にすることができるのではないのでしょうか。そのためには、しっかりとした目標、志をもつことが大事になります。

○「志」(こころざし)

皆さんは、「こころざし」という漢字を当然 知っていますよね。江戸時代に生きた坂本龍馬は、大政奉還という「志」をもち、時代を動かしました。マザーテレサは人種・言葉の壁を越えた 人類愛という「志」で生き、i-phoneやi-padの生みの親であるスティーブ・ジョブズは、シンプルでこれまでの常識にとらわれないモノづくりを目指していました。

「こころざし」を漢字ではどう書きますか？ 武士の「士」という字の下に「心」という字を書きますね。「志」という言葉 には、「自分の目標や目的を成し遂げようとする気持ち」や、「相手のために想う気持ち」などの意味があります。「自分の為」だけでなく「相手の為」「広く世の中の多くの人の役に立つため」という響きに、清々しさや力強さを感じます。

大きな節目であるこの時期、新たな志を一人一人が立て、それに向けて、最大限の努力をしていく姿が見られることを願っています。



○保護者の皆様へ

本校の教育活動に対し温かいご理解と多大なるご支援をいただき、心より感謝申し上げます。皆様に支えられ、生徒たちは一日一日を積み重ね、大きく成長することができました。この3学期、生徒たちは中学校説明会(1年)、3年生を送る会(2年)、防災フェス(3年)に向けて熱心に励み、部活動、そして日々の学習においても友と切磋琢磨する姿が随所に見られました。職員一同、今後も生徒たちが自ら考え、仲間と協働できる環境づくりに努め、前に向かっていく姿を後押しして参ります。春休み期間中もご家庭や地域での温かな見守りをよろしくお願いいたします。一年間本当にありがとうございました。

○お世話になりました～令和7年度末転退職員(学年順 敬称略)

個人情報により掲載を控えさせて
いただきます